

情報セキュリティとリテラシ2 ガイダンス

名古屋大学 情報基盤センター
情報基盤ネットワーク研究部門
基盤ネットワーク研究グループ

嶋田 創

講義で学習してもらう内容

- インタプリタ形式のオブジェクト指向スクリプト言語の1つである、Pythonのプログラミングを学ぶ
 - 基礎的なプログラミングのリテラシを身につける
- スクリプト言語はシステム管理、ウェブサービス管理、セキュリティ管理で多様される
 - アプリケーションのログの処理
 - 例: ユーザshimadaは今月は何回ログインしたか
 - 例: ウェブサーバ中のコンテンツを閲覧回数の多い順にランキング作成
 - アプリケーションをまたいだ自動処理
 - 例: x回以上認証失敗したIPアドレスを切り出してファイアウォールに転送し、ファイアウォールで遮断を設定
- 初歩を習った上で演習で実践を行なう
 - 変数の概念、基本的なデータ型、制御文、関数呼び出し

成績評価、他

- 小演習課題(50%)と最終課題(50%)で評価
 - 全部電子データの形でTACT(後述)から提出してもらう
- 出席して演習を行うことに重きをおいている講義ですので、**3回以上欠席した場合の成績は「欠席」**になります。
 - TACT小テストから出席確認を行います
 - 10:15-12:15の間のみ回答できます
 - 学内ネットワークからでないとは回答できない制限あり
 - 正当な理由(病気や忌引など)による欠席の場合は、カウントを1/2にします
 - 正当さを示す書類(診断書など)を準備して下さい
 - 正当な理由ならば、できるだけ事前に連絡下さい

スタッフ連絡先

- 教員

- 氏名/電子メール: 嶋田 創 / shimada
- メールアドレスは、後ろに@itc.nagoya-u.ac.jpを追加
- 居室: 情報基盤センター 5F 501号室(2Fの学生室にいることも)
- 出張中/会議中の除き、9:00前後～19:00前後の範囲でいます
- 電話: 052-789-4390 (内線4390)

- ティーチングアシスタント(TA)

- 氏名/電子メール: 高木 一樹 / takaki@
- 氏名/電子メール: ヤズジュ 勇志也 / yazuju@
- メールアドレスは、後ろにnet.itc.nagoya-u.ac.jpを追加

- ICE計算機室関係は計算機準備室の技官の方に聞いてもOK

講義スケジュール

- | | | |
|---------|-----|--|
| 6/5(金) | 第1回 | ICE計算機システムのガイダンス、Pythonというプログラミング言語の概要 |
| 6/19(金) | 第2回 | 計算機システム上でのPython実行/標準入出力 |
| 6/26(金) | 第3回 | 各種変数/データ型/演算 |
| 7/3(金) | 第4回 | 各種条件分岐処理およびループ処理 |
| 7/10(金) | 第5回 | ファイル入出力 |
| 7/17(金) | 第6回 | 関数呼び出し |
| 7/24(金) | 第7回 | 正規表現による文字列処理 |
| 7/31(金) | 第8回 | Pythonのサーバのログ処理への応用実習 |

講義ページ

http://www.net.itc.nagoya-u.ac.jp/~shimada/2026info_sec_lit2/

- 講義資料は講義ページとTACT両方に置きます
 - 講義ページの方は認証無しで資料にアクセスできて便利なので
- 講義ページには、講義に関連した情報へのリンクも準備します



```
#!/usr/bin/env python3
import qrcode
img = qrcode.make('https://www.net.itc.nagoya-u.ac.jp/~shimada/2026info_sec_lit2/')
#img.show()
img.save('genQR.png')
```

ちなみに、Pythonで
こんな感じで生成できます

講義ページのQRコード

Tips

- 「講義をじっと聞く」というよりも、「講義を(流し気味に)聞きながら、手元の端末でも説明された操作を試す」方が身につくと思います
 - もちろん、人によって向き不向きがあるので、不向きだったら無理してこの方法をやらないで下さい
 - もちろん、演習の時間は演習の時間で取ります
- 演習の時間で迷ったら早めに教員やTAを呼んで下さい